

(5) 大学院学校教育研究科

③-2 学校実習

ア 学校実習委員会設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

学校実習委員会は、大学院の学校実習（学校支援プロジェクト及び課題研究プロジェクト）に関する事項について調査検討することを目的として設置されている。

ii) 組織の構成及び構成員等

学校実習委員会は、①学長が指名した副学長、②教育支援高度化専攻心理臨床研究コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）、③教育実践高度化専攻の各コースから選出された教授又は准教授、④学校教員養成・研修高度化センター学校教育実践部門長、⑤学校実習・ボランティア支援室長、⑥附属学校長（園長を含む。）、⑦特命課長（学校実習担当）、⑧その他学長が指名した者の計24人で構成されている。

また、学校実習の責任体制を明確にするとともに効率的な運営を図るため、学校実習委員会に以下の部会を設置した。

・ 公認心理師実習専門部会

①心理臨床研究コースから選出の学校実習委員会委員、②その他委員長が指名した者若干人の計7人で構成

・ 外国人留学生学校実習専門部会

①学校実習委員会から選出の委員、②国際交流推進センター長、③その他委員長が指名した者若干人の計3人で構成

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

令和6年4月16日（火）	第1回学校実習委員会
〃 5月22日（水）	第2回学校実習委員会
〃 10月29日（火）	第3回学校実習委員会
令和7年2月4日（火）	第4回学校実習委員会
〃 3月11日（火）	第5回学校実習委員会

ii) 審議された主な事項

学校実習委員会及び専門部会における主な審議事項は、以下のとおりである。

- ・ 学校実習のマッチング
- ・ 学校実習に関する意見への対応
- ・ 学校実習アンケートの実施
- ・ 学校支援プロジェクトセミナーの実施
- ・ 学校支援プロジェクト実践研究の発行形式
- ・ 大学院学校実習の手引き
- ・ 学校支援プロジェクトハンドブック
- ・ 学校実習の成果・課題

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

学校実習コンソーシアム上越により、本学と上越近隣4市の教育委員会及び校長会が協働し、延べ154校・機関と連携し、学校実習を実施した。

また、令和4年度の教職大学院拡大に伴い、各学校からの連携希望書提出に上限を設けていなかったが、学校により連携希望やマッチングの多寡が生じていることから、連携希望書の提出を最大3件までとし、より多くの学校とマッチングできるよう改善を図った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

これまで校長会にとりまとめを依頼していた学校実習に関するアンケートを、連携協力校及び本学大学院生を対象に本学で実施していたが、学校実習コンソーシアム上越を構成する4市内で連携ができなかった小中学校にも拡大して実施することとし、集約した意見や要望等から改善点を取りまとめ、次年度以降の学校実習実施に活かすべく、改善を図ることとした。